

## B. 主要な施策の成果

日 主 雙 成 誠 策 の 丸 果

## (1) 総務費

事業名		地域防犯推進事業		予算科目	会計	01	一般会計
					款	02	総務費
事業開始年度	平成 20 年度	事業進捗率	40 %		項	01	総務管理費
担当部署	総務 部	総務 課			目	01	一般管理費
事業費			19,242,998 円	事業の目的・目標	自治会が行う防犯灯新設・移設・撤去に係る事業費に対しては費用の1/2を補助する。本事業により自治会の防犯灯新設を促し、安心安全のまちづくりを推進する。また、電気代補助により自治会の負担を緩和する。この補助金がH24年度で終了となるため、電気料金負担が大きい自治会の防犯灯をLED化し、自治会の負担を軽減する。		
財源内訳	国庫支出金		7,486,820 円				
	県支出金		円				
	地方債		円				
	その他		5,123 円				
	一般財源		11,751,055 円				

### 施策の内容、実績、及び効果

#### ○事業の内容

#### ●防犯灯設置費補助金（新設・移設・撤去-1/2補助 補助限度額30,000円）

内容 自治会が行う防犯灯新設に係る事業費に対し半額を補助する。社会資本整備総合交付金を事業費の60%に充て、残り40%を市の一般財源で賄う。

実績 事業費 790,033円  
事業量 新設 26基 移設 4基 撤去 7基

効果 新設に係る経費を1/2補助することにより、今まで設置が困難であった箇所や犯罪の起きやすい箇所に設置することができ、安心安全のまちづくりを進めることができた。

#### ●LED防犯灯普及事業

内容 自治会内世帯数が少なく、防犯灯の数が多い自治会は、電気料金負担が大きい。この格差を是正するため、1戸当りの電気料金負担額が年間1,500円を超える自治会の防犯灯を全灯LED化するもの。

実績 事業費 11,944,800円  
事業量 31自治会 382灯

効果 H25年度から、電気料金が全額自治会負担となるが、LED化することにより電気料金を約43%節減できる。これにより、自治会の負担を軽減することができた。

#### ●防犯対策費補助金（電気代相当額）

事業費 2,382,625円  
事業量 市内全自治会 2,723灯

※補助率はH20は全額、H21・22は1/2、H23・24は1/4、以後全額自治会負担

#### ●防犯灯修繕料他 4,125,540円

事業名		企画費（棋聖戦 他）		予算科目	会計	01	一般会計
					款	02	総務費
事業開始年度	平成 24 年度	事業進捗率	100 %		項	01	総務管理費
担当部署	総務 部	政策企画 課			目	08	企画費
事業費			4,772,925 円	事業の目的・目標	「神々の国しまね推進プロジェクト」の一環として、有福温泉に棋聖戦を招致し、江津市や有福温泉を全国にPRすることにより、本市の観光振興に資するとともに、有福温泉の地域コミュニティ組織の組織化の推進を図る。 また、人麻呂ゆかりの地である江津市を広く県内外にアピールするため、着ぐるみを新たに製作する。		
財源内訳	国庫支出金		円				
	県支出金		円				
	地方債		2,000,000 円				
	その他		93,240 円				
	一般財源		2,679,685 円				

### 施策の内容、実績、及び効果

#### ①棋聖戦

##### ○事業内容・実績

棋聖戦江津大会を開催するにあたり、事業実施主体である「棋聖戦江津大会実行委員会」へ補助金を交付。

##### ●「棋聖戦江津大会実行委員会」構成団体

江津商工会議所、江津市観光協会、有福温泉旅館組合、有福温泉町まちづくり協議会  
江津商工会議所青年部、江津青年会議所、江津市

##### ●イベント内容

①対局（旅館ぬしや） ②前夜祭（よしだや） ③大盤解説（旅館ぬしや） ④記念イベント（はんどキャンドルセタナイト、石見神楽 他）

##### ●収支決算（「棋聖戦江津大会実行委員会」決算）

##### 収入

区分	決算額（円）
江津市補助金	2,500,000
島根県補助金	2,500,000
入場料 等	187,954
合計	5,187,954

##### 支出

区分	決算額（円）
対局関連運営費	3,279,511
広告宣伝費 等	1,324,508
イベント事業費	583,935
合計	5,187,954

##### ○効果

棋聖戦江津大会において、羽生善治棋聖が将棋の七大タイトル通算獲得数「81期」の新記録を打ち立てる歴史的な対局となったことにより、大記録誕生の舞台として、江津市と有福温泉を全国に発信することができた。

また、棋聖戦と同時に開催した各種イベントでは、市内の団体や有福温泉地区のコミュニティの方々が一丸となって運営に携わった。その結果、地域の連携が図られ、地域コミュニティの推進の一助となった。

#### ②「人麻呂・よさみ姫」着ぐるみ製作

##### ○施策の内容、実績、及び効果

●以前使用していた着ぐるみが、製作から13年経過しており、破損や汚れ等が目立っていたため、今回新たに製作した。

（製作費 1,732,500円）

●7月の棋聖戦江津大会にてお披露目して以降「全国万葉フェスティバル in しまね」などのイベント等に計30回参加。県内外に「人麻呂ゆかりの地、ごうつ」をアピールすることができた。



事業名		国際交流員招致事業		予算科目	会計	01	一般会計	
事業開始年度		平成 14 年度	事業進捗率		%	款	02	総務費
担当部署		総務 部	政策企画 課			項	01	総務管理費
事業費			5,131,423 円			目	08	企画費
財源内訳	国庫支出金		円	事業の目的・目標	中国からの国際交流員を活用し、全市民を対象に異文化理解や国際理解の促進を図る。また、本市における外国人の多数を占める在住中国人への生活支援を行い、きめ細やかな国際交流の推進を図る。			
	県支出金		円					
	地方債		円					
	その他		259,324 円					
	一般財源		4,872,099 円					

### 施策の内容、実績、及び効果

#### ○内容、実績、及び効果

平成22年4月に着任した夏瑞紅国際交流員も3年目の活動を終えた。出前講座については、市民向け講座として中国語、中国事情、中華料理の三つの講座を開催した。講座の内容をより良いものとするため、受講者によって内容を変え、充実したものとなるよう工夫してきた。

出前講座のほかにも、広報かわらばんや市のホームページに定期的に寄稿し、市民に情報発信を行った。日本での経験や日々の出来事を交流員ならではの視点から掲載し、多くの市民に対し、中国人や中国文化に対する理解を深めることができた。

さらに、平成24年度は市内に在住する中国人、中国残留邦人、中国系日本人の通院時の通訳業務などもますます増加しており、引き続きサポートを行った。内容も多岐に渡り、通院時だけでなく市役所窓口等での手続き、生活全般の相談等、住民からの信頼も厚い。平成24年度は一般の中国人住民へのサポートだけでなく、企業勤務の中国人住民とその地域の住民の交流にも関わり、業務の幅を広げている。

また、10月に開催された「外国人による『日本への提言』全国弁論大会」にも積極的に出場し、江津市の魅力をもっと世界にも伝えたいと論じ、準優勝に輝いた。

区分	決算額 (円)
報酬 他	4,389,883
旅費	119,380
事務費 他	622,160
合計	5,131,423

#### ●出前講座

- ・中国語入門講座…挨拶・自己紹介などの中国語を指導する (4回)
- ・中国語講座…初級、中級者向けに中国語を指導する (38回)
- ・中国事情講座…中国の伝統文化、現状などについての紹介を行う (15回)
- ・中華料理教室…中国の食文化の紹介や中華料理の実践を行う (6回)

#### ●小学校訪問…学校からの依頼に応じて、授業等を行う (7回)

#### ●執筆

- ・かわらばん広報ごうつ…日本で体験した事柄を中国人の視点で紹介 (12回)  
「小夏の日本イロハ感想記」
- ・江津市ホームページ…中国の現状や最新情報などを紹介 (7回)

#### ●翻訳…行政関係文書の翻訳等 (15回)

#### ●在住中国人サポート…生活相談、通院通訳など (110回)

#### ●研修・出張 (3回)

- ・平成24年度国際交流員及び契約団体担当者研修会 (H24年10月11～12日 出雲市)
- ・外国人による「日本への提言」全国弁論大会出場 (H24年10月24日 出雲市)
- ・平成24年度C I R 中間研修 (H24年11月19～22日・東京ベイ幕張ホール)

事業名	地域コミュニティ活性化事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	02	総務費
事業開始年度	平成 19 年度	事業進捗率	%		項	01	総務管理費
担当部署	総務 部	政策企画	課		目	08	企画費
事業費				事業の目的・目標	過疎化や少子高齢化により地域活動（自治会機能）の衰退が進行し、集落の維持が困難な状況となっていることから、地域住民が主体性を持って「自らが考え、行動する」自主的なまちづくり活動を支援し、住民と行政との協働による地域づくりを推進する。		
財源内訳	国庫支出金		4,990,638 円				
	県支出金		円				
	地方債	100%	4,600,000 円				
	その他		円				
	一般財源		390,638 円				

施策の内容、実績、及び効果

○地域コミュニティづくり事業（平成19年度～）

●施策の内容

「自らが考え、行動する、自立した地域づくり」を実践できる自治会や公民館、各種団体が連携した新たな自治組織（地域コミュニティ）づくりを推進する。

●実績

交付団体名（地区名）	交付金額	備 考
松平たすけ愛協議会（松川・川平）	500,000円	先進地視察（雲南市）他
都治地区コミュニティ協議会（都治）	250,000円	先進地視察（広島県三次市）他
敬川コミュニティ準備委員会（敬川）	250,000円	先進地視察（広島県安芸高田市川根地区）他
有福温泉コミュニティ準備委員会（有福温泉）	250,000円	先進地視察（大阪府寝屋川市）他
計	1,250,000円	

●効果

地域コミュニティの組織化に向けて、先進地視察などの活動を行った。その結果「松平地区」「都治地区」の2地区の組織が設立した。

○地域コミュニティ実践事業（平成21年度～）

●施策の内容

地域で組織された新たな自治組織（地域コミュニティ）が、自ら考え取り組む「まちづくり計画」を実践するための支援を行う。（平成24年度より跡市地区が実践事業へ移行）

●実績

交付団体名（コミュニティ名）	交付金額	備 考
浅利町まちづくり協議会	1,063,000円	基本項目：781,000円（組織運営費） 選択項目：82,000円（浅利公園管理） 独自事業：200,000円（防犯防災対策・環境美化 他）
黒松自治区推進協議会	1,489,284円	基本項目：575,000円（組織運営費） 選択項目：40,000円（黒松停留園除草） 独自事業：874,284円（乾燥ナマコ加工・防災対策 他）
跡市地区まちづくり協議会	877,989円	基本項目：377,989円（組織運営費） 独自事業：500,000円（助け合い制度・歴史文化研究 他）
計	3,430,273円	

●効果

海産物の加工・販売を行えるような体制づくりを行い、少量ながら産直市等で販売を行った。また、防災対策として津波避難訓練を行い、地域の防災意識の向上につながるなど、交付金により地域コミュニティ活動が推進された。

事業名		桜江ピクニックラン事業		予算科目	会計	01	一般会計
事業開始年度		平成 8 年度	事業進捗率 %		款	02	総務費
担当部署		桜江支所	部 課		項	01	総務管理費
事業費		1,123,245 円			目	08	企画費
財源内訳	国庫支出金			事業の目的・目標	国内最大級の水のミュージアム「水の国」と大型温泉リゾート施設「風の国」、並びに江津市の豊かな自然をアピールし、地域の活性化を図ると共に、このイベントを通じて健康、体力増進と参加者相互の融和に寄与する事を目的とする。		
	県支出金						
	地方債	100%	300,000 円				
	その他		794,000 円				
	一般財源		29,245 円				

### 施策の内容、実績、及び効果

#### ○内容

事業主体：ピクニックラン桜江実行委員会

開催日：平成24年7月24日（日）

種目	マラソン	水の国～風の国	(基本的に走る方のみ)	21km
	マラソン	風の国～八戸～風の国	(基本的に走る方のみ)	13km
	ウォーキング	風の国～嘶山～風の国	(基本的に歩く方のみ)	8.5km

マラソン13キロ及びウォーキング8.5キロについては一部コースを変更して行った。

独立行政法人日本スポーツ振興センター「スポーツくじ振興助成金交付事業」の助成を受けて事業を開催した。

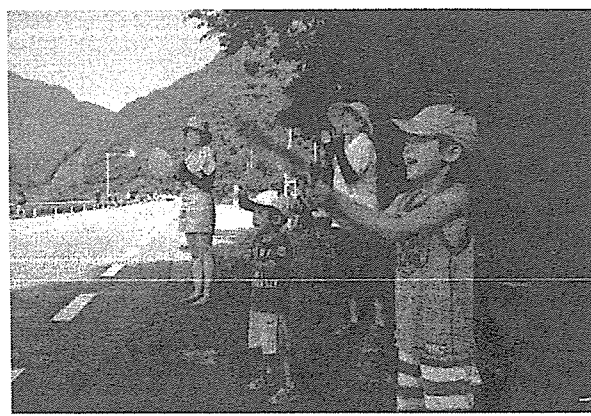
#### ○実績

当日参加総数 688人 (マラソン21キロ 393人、マラソン13キロ 181人、ウォーキング8.5キロ 114人)

#### ○効果

全国各地より総数688人が参加され、その内県外者が約6割強を占めており、このイベントを通じて地元ボランティア及び参加者相互の交流が図られ、また江津市の豊かな自然をアピールできた。

#### 第16回写真





事業名	定住促進空き家活用事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	02	総務費
事業開始年度	平成 20 年度	事業進捗率	%		項	01	総務管理費
担当部署	産業振興 部	農林水産 課			目	08	企画費
事業費		8,323,165 円		事業の目的・目標	市内の空き家を地域資源として位置づけ、U・Iターン者の住まいのサポートに活用することにより、地域の担い手を確保し、集落機能の維持・活性化を図る。		
財源内訳	国庫支出金	円					
	県支出金	2,130,000 円					
	地方債	100%	3,300,000 円				
	その他	2,198,867 円					
	一般財源	694,298 円					

施策の内容、実績、及び効果

「定住促進集落活性化住宅の管理運営」

空き家となっている住宅を借り上げ、修繕工事を行い、U・Iターン希望者向け住宅として整備及び管理する。

- 総事業費 : 6,432,163 円
- 内) 平成24年度管理事業 : 2,170,213 円 (8戸の住宅を管理)
- 有福温泉第一住宅屋根修繕工事 : 4,261,950 円

○事業の実績

- 平成24年度末時点で8戸の住宅を管理。
- 平成24年度末時点で7戸に19人が入居。平成24年度に1世帯(2人)が転出し、2世帯(3名)が入居。

○事業の効果

- 過疎・高齢化が進行した集落に子ども連れの若年世帯を確保することができた。
- 条例に定める入居要件において、自治会活動の参加などを求めており、移住者が自治会活動等へ積極的に参画している。

「U・Iターンのための空き家改修費補助金」

江津市にU・Iターンするために市内の空き家を購入した者、または、市外からの雇用者の社宅として空き家を購入した事業者が、当該空き家での居住のために必要な修繕を行う際の費用の一部を助成する。

○事業の実績

- 平成24年度実績 補助金交付件数 5件

[内容]

No.	1	2	3	4	5
空き家所在地	都治町	和木町	都野津町	二宮町神主	渡津町
事業費	¥1,256,000	¥26,005	¥756,000	¥2,257,775	¥1,305,000
補助金額	¥500,000	¥13,002	¥378,000	¥500,000	¥500,000
購入/賃貸	賃貸	賃貸	賃貸	購入	賃貸
交付対象者	所有者	所有者	所有者	入居者	所有者
主な修繕内容	和室のフローリング化、台所改修、トイレ水酸化、壁塗り替え	換気扇取り替え 外灯取り替え	浴室改修(フロ タ交換)、トイ レ給水管修理交 換、ガス給湯器 新設	玄関改修(位置 変更)、トイレ 新設、駐車場整 備(壁撤去、舗 装)	台所・リビング 改修、土間コン クリート打設、 壁張替え、給湯 設備設置
定住人数	2人	4人	2人	2人	2人
定住者の前住所	東京都	広島県	神奈川県	浜田市	アメリカ
U・Iターンの別	Uターン	Uターン	Iターン	Iターン	Uターン

○事業の効果

本補助金による助成があるため、Iターン希望者が居住のための修繕を必要とする空き家の購入に踏み切り、1世帯2人が定住した。

また、平成24年度より賃貸空き家の修繕費も補助金交付対象としたことにより、所有者による空き家の修繕を促進することができたため、4世帯10人が新たに定住した。

事業名	コミュニティビジネス創出支援事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	02	総務費
事業開始年度	平成 22 年度	事業進捗率	%		項	01	総務管理費
担当部署	産業振興	部	農林水産		課	08	企画費
事業費		4,981,640 円		事業の目的・目標	小規模でも地域の課題や資源に根ざしたビジネスを創業する仕組みを整えるとともに、起業スキルを持つ人材を受け入れる環境をつくる。 目標：創業人材の受入れ1名		
財源内訳	国庫支出金		円				
	県支出金	50%	2,490,000 円				
	地方債	100%	1,500,000 円				
	その他		991,640 円				
一般財源		円					

### 施策の内容、実績、及び効果

#### ○事業の内容

過疎化・高齢化が進む本市において、ソーシャルビジネス等の起業を促進し、多様な雇用を創出する仕組みづくりを行うため、ビジネスプランコンテストを開催し、起業しようという熱意のある人材に対し、本市で起業する機会を提供するとともに、プラン実現に向けた創業支援を行う。

#### ○事業の実績

##### ●ビジネスプランコンテストの開催

県内外から13件の提案が寄せられ、一次審査、二次審査（公開プレゼンテーション）を経て、1件の大賞受賞者を選出した。また、地元高校生による地域活性化にかかるトークセッションを実施した。

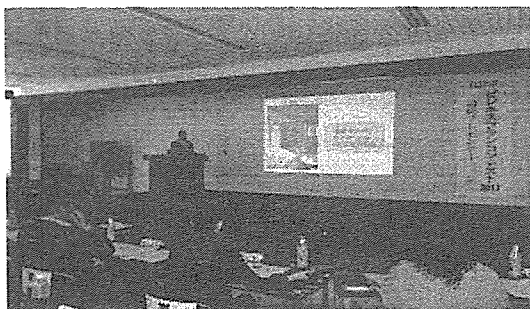
##### ●起業勉強会の開催

受賞者の活動状況や他地域の実践者の取り組みを共有し、アドバイスを受ける勉強会を月1回程度特定非営利活動法人てごねっと石見が開催した。知識の習得だけでなく、実践者同士のネットワークを構築する場として機能していた。

#### ○事業の効果

特定非営利活動法人てごねっと石見へ業務委託し、江津商工会議所、桜江町商工会、社団法人江津青年会議所と連携して実施することで、応募者に対して専門的分野の相談やきめ細かい情報提供を行うことができた。また、応募時に収支計画を盛り込むことにより、応募数は減少したものの、より精度の高いプランが集まった。

大賞受賞者は既に創業しており、プラン実践に向けて活動を始めている。また、出場者のうち1名はコンテストをきっかけにUターンし、特定非営利活動法人てごねっと石見に雇用され、活動している。



《大賞受賞者 平下 茂親 氏》

事業名	自治機能再生ブレン等派遣・配置事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	02	総務費
事業開始年度	平成 22 年度	事業進捗率	%		項	01	総務管理費
担当部署	産業振興	部	農林水産		課	08	企画費
事業費 (A)		9,995,689 円		事業の目的・目標	地域へアドバイザーや支援人材を派遣・配置し、地域コミュニティを活性化させる。 目標：平成29年度までに22地区で地域コミュニティ組織を設立		
財源内訳	国庫支出金		円				
	県支出金		円				
	地方債	100%	8,800,000 円				
	その他		1,195,689 円				
	一般財源		円				

### 施策の内容、実績、及び効果

#### ○事業の内容

地域コミュニティ組織の形成を目指す地域、若しくは地域コミュニティ活動を活発に展開しようとする地域へ「自治機能再生ブレン（アドバイザー）」と「地域マネージャー（支援人材）」を配置し、その活動をサポートする。

地域コミュニティ活性化事業交付金の活用とセットで運用することを原則とし、地域自治機能の再生・活性化を図ることを目的とする。

#### ○事業の実績

##### ●江津市自治機能再生ブレンの活動状況

- ・作野広和准教授(島根大学)～松平地区の地域づくり計画作成支援、地域コミュニティ推進会議委員
- ・諸岡了介准教授(島根大学)～黒松地区の活動支援、地域コミュニティ推進会議委員
- ・川北秀人氏(IHOE)～地域実践者向け研修会及び職員研修会の講師

##### ●地域マネージャー配置状況

黒松1名、松平1名、都治1名、跡市1名、敬川1名 合計5名配置

#### ○事業の効果

##### ●自治機能再生ブレン派遣にかかる効果

地域コミュニティの組織づくりや活動について助言・指導を受けることにより、地域活動や組織形成が促進された。また、地域コミュニティ推進会議の委員として、江津市の実状に沿った地域コミュニティ推進指針の策定に寄与された。

##### ●地域マネージャー配置にかかる効果

地域コミュニティの組織形成や活動において、会議の招集や資料作成、交付金や補助金事務、各団体等との調整、市と連絡調整などを担当することにより、各地区の活動が促進された。

##### ●地域コミュニティの推進にかかる事業効果

新たに3地区（松川・川平地区、跡市地区、都治地区）に地域コミュニティ組織が設立された。他地区においても、地域コミュニティ準備会が設置されるなど、検討を始める地区が増加している。



松平たすけ愛協  
設立総会 平成24年4月15日



都治地区コミュニティ協議会  
設立総会 平成24年4月29日



跡市地区まちづくり協議会  
設立総会 平成24年6月3日

事業名	江の川下流域活性化協議会			予算科目	会計	01	一般会計
					款	02	総務費
事業開始年度	平成 24 年度	事業進捗率	%		項	01	総務管理費
担当部署	総務 部	政策企画	課		目	08	企画費
事業費		1,500,000 円		事業の目的・目標	江の川下流域の団体が連携、協調し、この下流域の素晴らしい資源、特性等を活かした広域的な取り組みを展開することで、下流域の活性化を図る。		
財源内訳	国庫支出金		円				
	県支出金		円				
	地方債		円				
	その他	1,500,000 円					
	一般財源		円				

### 施策の内容、実績、及び効果

#### ○事業の内容

江の川の下流域に隣接する江津市、川本町、美郷町、邑南町からなる構成自治体と中国電力株式会社をもって「江の川下流域活性化協議会」を設置し、江の川下流域の自然環境、産業、歴史・文化等の振興に資する事業を展開する。

●江の川下流域活性化協議会負担金 1,500千円（江津市負担分：構成市町村の負担割合8分の2）

#### ・具体的な取組事業

##### 1. 地域開発事業

###### (1) 植栽事業

①住民組織が実施する植栽事業で植栽する桜、もみじ、その他の苗木や添え木、堆肥、肥料、結束ひもなどの資材経費に対し1団体当たり100,000円を上限に補助する。

②4市町の公共施設に植栽する桜、もみじ、その他の苗木や添え木、堆肥、肥料、結束ひもなどの資材経費に対し1市町当たり200,000円を上限に補助する。

###### (2) 地域開発事業

①竹藪の伐採事業支援…市町が実施する江の川沿いの「竹藪伐採事業」に対する支援。

##### 2. 地域活性化事業

(1) 三彦市出展者協議会…安定経営と市民に支持される地産地消を強力に推進するため、品質向上の技術指導や加工品表示等の研修を行う。また先進事例の視察により意識の高揚、出荷のノウハウの取得を図る。

(2) 三江線活性化協議会…三江線は、通学、通院、通勤のための手段として無くてはならないもので、三江線改良利用促進期成同盟会、三江線活性化協議会が実施する利用促進に向けた事業について助成し、三江線の利用促進と江の川流域の地域振興を図る。

(3) 邑智郡農林業振興協議会…邑智郡全体を対象とした農産物等の広域産地化に取り組むなど各町、農業協同組合、その他関係機関が一体となった農林業振興を積極的に進めている。主要出荷先である広島県において郡内特産物のPRを行い、生産振興はもとより、地域の活性化に資することを目的とし、情報発信や郡内の産直市活動を活かした圏域外からの多様な消費者の獲得を図る。

###### (4) その他地域活性化事業

①江の川下流域関連イベントの支援…江の川流域の「川に関するイベント」開催に対する支援。

②江の川学講座、イベントの開催…流域の住民や子ども達に対する啓発を目的として、講師を招き「江の川学」として、環境学習、体験学習の講座開設やイベントの開催。

③職員研修の開催

#### ○平成24年度の実績

事業名	助成金額	事業主体	事業内容
邑智郡物産PR対策事業	300,000円	邑智郡農林業振興協議会	島根ふるさとフェアでのPR悠邑ふるさと市
三江線利用促進事業	1,100,000円	三江線改良利用促進期成同盟会、三江線活性化協議会	三江線の利用促進と江の川流域の地域振興を図る。

#### ○事業の効果

各種団体へ助成することで、江の川流域の地域振興が図られた。

事業名	高野山風力発電所周辺地域活性化支援補助事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	02	総務費
事業開始年度	平成 24 年度	事業進捗率 9.2 %		項	01	総務管理費
担当部署	総務 部	政策企画 課		目	08	企画費
事業費					2,295,000 円	事業の目的・目標 江津高野山風力発電所から概ね1kmの範囲内の連合自治会が、地域の活性化を目指して実施する事業に対し、予算の範囲内で補助金を交付することにより、対象地域の活性化を図ることを目的とする。
財源内訳	国庫支出金				円	
	県支出金				2,295,000 円	
	地方債				円	
	その他				円	
	一般財源				円	

施策の内容、実績、及び効果

○内容・実績

該当地域の連合自治会において実施される防犯灯の設置や維持、地域の活性化に寄与する事業に対して補助金を交付する。

補助対象連合自治会	補助額	備 考
二宮連合自治会	1,620,000円	・防犯灯設置等事業 ・その他活性化事業（集会所等周辺整備事業）
有福温泉町連合自治会	155,000円	・防犯灯設置等事業
敬川連合自治会	250,000円	・防犯灯設置等事業
跡市連合自治会	270,000円	・防犯灯設置等事業
合 計	2,295,000円	

○成果

本市を主会場とした「全国万葉フェスティバル」の開催に併せ、万葉ロマンの地（二宮町）の集会所等の周辺整備を行い、誘客に貢献することができた。  
また、当補助金を活用することにより、地域の安心安全を図ることができた。

事業名	地方バス路線維持対策事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	02	総務費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		項	01	総務管理費
担当部署	産業振興	部	商工観光		課	目	09
事業費 (A)			21,525,000 円	事業の目的・目標	公共交通機関である路線バスは、過疎化と高齢化の進行やモータリゼーションの進展などにより、利用者は年々減少している。 一方で日常生活を営む上で、住民にとってはなくてはならない路線であることからバス事業者に対して運行補助を行うことによって住民の生活交通を確保する。		
財源内訳	国庫支出金		円				
	県支出金		円				
	地方債		円				
	その他		円				
一般財源		21,525,000 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

島根県生活交通確保対策協議会の結果に基づき、島根県知事が選定した生活交通路線を運行する事業者に対して、補助対象経費と経常収益との差額のうち、国及び県の補助金を除いた残額を路線の延長によって沿線自治体と按分した額を補助金として交付する。

- ・バス運行事業者 石見交通株式会社
- ・補助対象期間 平成23年10月1日～平成24年9月30日

○事業の実績

運行系統	運行キロ	平均回数	乗車密度	補助金(千円)
周布～有福温泉～江津駅前	42.0	6.8	2.8	4,546
周布～宇野～有福温泉	26.3	1.0	1.7	73
江津駅前～大橋東詰～嘉戸塩田口	2.5	1.9	0.4	611
済生会病院～江津駅前～嘉戸塩田口	3.6	1.9	0.3	933
周布～西波子～温泉津温泉口	50.3	1.0	2.9	1,016
周布～西波子～済生会病院～江津駅前	31.2	18.5	3.8	2,178
周布～西波子～沖田クニツカ～江津駅前	32.6	2.0	3.4	
済生会病院～岩貝～川戸駅	16.8	2.0	0.1	4,341
済生会病院～波積～大家	24.4	0.8	0.4	990
済生会病院～波積～大家回転場	23.8	2.8	1.7	2,195
済生会病院～浅利駅口～波積	13.2	2.0	0.3	3,863
大田市立病院前～仁万駅前～済生会病院	47.5	4.0	3.8	779
合計				21,525

○事業の効果

石見交通により、安定的に輸送サービスが提供された。

事業名	生活交通バス事業				予算科目	会計	01	一般会計
						款	02	総務費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率	%		項	01	総務管理費
担当部署	産業振興	部	商工観光	課		目	09	地域開発費
事業費(A)				12,422,242円	事業の目的・目標	地域住民の交通手段を確保し、公共の福祉に資するため、江津市生活路線廃止代替バス及び江津市生活バスを運行する。		
財源内訳	国庫支出金			293,000円				
	県支出金			円				
	地方債			円				
	その他			904,020円				
	一般財源			11,225,222円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

- 江津市生活路線廃止代替バス  
井沢町井沢峠から跡市町跡市停留所までの間において、生活路線廃止代替バスを運行する。  
・運行状況 月～土 2往復/日
- 江津市生活バス(桜江地域)  
桜江町において各集落から応儀医院、JR川戸駅、公共施設、金融機関及び商店などへアクセスする生活バスを運行する。  
・運行状況 (月・木)坂本・三田地・今田方面 各1往復/日、市山線 2往復/日  
(火・金)長戸路・谷・日浦方面 各1往復/日、市山線 3往復/日
- 江津市生活バス(デマンド)  
川平町、松川町上津井地区、波積町南、有福温泉町本明、千田町において、JRの駅や石見交通のバス停を結節点としたデマンド型バスを運行する。  
・運行状況 川平線 (火・金)2往復/日  
松川波積線 (月・木)4往復/日 (火・金)1往復※上津井-川平駅間  
有福千田線 (火・木)1往復/日
- 江津市生活バス(江中スクールバス混乗)  
JR川戸駅から済生会病院まで、江津中学校スクールバスを利用した混乗バスを運行する。  
・運行状況 月～金 1回/日(片方向のみ)

○事業の実績

運行区間	運行日数	乗車人数	1日あたり乗車人数	使用料収入(円)
江津市生活路線廃止代替バス				
井沢峠-跡市バス停	296	1,026	3.47	213,980
江津市生活バス(桜江地域)	195	1,573	8.07	304,000
(坂本線)坂本口-川戸駅前	95	382	4.02	67,600
(三田地線)三田地上-川戸駅前		101	1.06	20,200
(今田線)川戸駅前-(今田経由)-応儀医院前		43	0.45	8,600
(長戸路線)長戸路集会所-川戸駅	100	112	1.12	22,400
(谷線)上谷-川戸駅前		233	2.33	46,500
(日浦線)日浦-川戸駅前		52	0.52	10,400
(市山線)川戸駅前-応儀医院前	195	650	3.33	128,300
江津市生活バス(デマンド)				
(川平線)後谷-川平駅	100	361	3.61	72,200
(松川波積線)	195	649	3.33	129,800
波積町本郷~川平駅	95	625	6.58	125,000
上津井-川平駅	100	24	0.24	4,800
(有福千田線)本明-跡市バス停	101	56	0.55	14,000
江津市生活バス(江中スクールバス混乗)				
川戸駅前-済生会病院	244	370	1.52	170,040

○事業の効果

生活交通バスの運行により、市民の交通手段を確保することができた。

事業名	地籍調査事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	02	総務費
事業開始年度	平成 10 年度	事業進捗率 51 %		項	01	総務管理費
担当部署	総務 部	管財 課		目	15	地籍調査事業費
事業費 (A)		40,072,334 円	事業の目的・目標	国土調査法に基づき一筆ごとの土地について、その所有者、地番及び地目の調査並びに境界及び地積の測定を行い、地籍図と地籍簿を整備することにより、都市計画などの各種施策の策定あるいは公共事業のための用地買収など、土地に関する行政や市民生活と密接に関係する基礎資料を作成する。		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	3/4 29,850,000 円				
	地方債	円				
	その他	円				
一般財源	1/4 10,222,334 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

一筆ごとの土地について、所在、地番、地目及び境界の調査と登記簿に記載された所有者の表示事項の確認と境界の測量及び面積の測定を行い、調査の結果を地図（地籍図）及び簿冊（地籍簿）を作成する。成果は県知事の認証を受けた後、法務局において登記される。

○事業の実績

作業工程／調査地区	後地3区	後地5区	都治1区	江津2区
地籍図根三角測量 (C工程)	—	—	0.48km <sup>2</sup>	0.80km <sup>2</sup>
地籍図根多角測量 (D工程)	0.51km <sup>2</sup>	0.84km <sup>2</sup>	—	—
一筆地調査 (E工程)	—	—	0.48km <sup>2</sup>	0.80km <sup>2</sup>
地籍細部測量 (F I工程)	0.51km <sup>2</sup>	0.84km <sup>2</sup>	—	—
一筆地測量 (F II-1工程)	0.51km <sup>2</sup>	0.84km <sup>2</sup>	—	—
地籍図原図作成 (F II-2工程)	0.51km <sup>2</sup>	0.84km <sup>2</sup>	—	—
地積測定 (G工程)	0.51km <sup>2</sup>	0.84km <sup>2</sup>	—	—
地籍簿作成 (H工程)	0.51km <sup>2</sup>	0.84km <sup>2</sup>	—	—

(1) 平成24年度末現在進捗状況

- ・江津市全体面積 268.51km<sup>2</sup>
- ・調査対象面積 255.85km<sup>2</sup>

区 分		調査実施面積	進捗率
桜江地域 (平成9年度 全区域完了)		102.96km <sup>2</sup>	—
江津地域 (完了区域)	川平町平田1～8区、波子町波子1区、嘉久志町嘉久志1区、川平町南川上1～5区、浅利町浅利1区、松川町上河戸1区、江津町江津1～2区、後地町後地1～5区、黒松町黒松1区、都治町都治1区	23.17km <sup>2</sup>	—
	ミ三国調 (波積町、波子町、敬川町、有福温泉町の一部)	2.19km <sup>2</sup>	—
	19条5項関係 (圃場整備、区画整理等で指定を受けたもの)	1.63km <sup>2</sup>	—
	計	129.95km <sup>2</sup>	50.79%

※調査実施面積は、換算面積（調査中）を含む。

○事業の効果

地籍調査の成果は、登記に反映されるため次のような効果が得られる。

- (1) 土地に関するトラブルの防止。
- (2) 公共事業の円滑化、用地取得に伴う登記事務処理の省力化。
- (3) 課税の公平化。
- (4) 災害時等での境界の復元。
- (5) 各種土地施策の基礎資料としての利用。



事業名	人権啓発活動事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	02	総務費
事業開始年度	平成 24 年度	事業進捗率	%		項	01	総務管理費
担当部署	市民 部	人権啓発センター	課		目	16	人権啓発費
事業費				事業の目的・目標	人権尊重思想の普及高揚を図り、人権問題に対する正しい認識を広めることにより、基本的人権の擁護に資することを目的に人権啓発活動を行う。		
財源内訳	国庫支出金		1,428,138 円				
	県支出金		550,000 円				
	地方債		円				
	その他		1,500 円				
	一般財源		876,638 円				

施策の内容、実績、及び効果

	概 要	決 算 額
人権の花運動の推進	花を育てることによって、児童をはじめとした人権感覚を高める。 参加校 郷田小学校、渡津小学校、江津東小学校、跡市小学校、川波小学校、津宮小学校、高角小学校及び桜江小学校（以上8校） ① 花の種ほか 120,000 ② 花壇看板 25,687 ③ 啓発グッズ 104,313	250,000
人権問題講演会の開催	テーマ： 子どもの人権「いじめ」 開催日 12月5日（水） 会場 江津市総合市民センター 演題 イジメを考える ～生きてなんぼ！我が道を行け！～ 講師 石田志芳さん〔メンタル心理カウンセラー〕 （作家・シナリオライター・女優） 参加者 410名	300,000
当該事業関連	会場借上料・看板代・消耗品	84,472
その他事業		138,666
全日本同和会島根県連合会補助金		69,000
浜田人権擁護委員協議会負担金		206,000
全日本同和会江津支部補助金		380,000
合 計		1,428,138

啓発事業であることから、成果の検証は見えにくいですが、心理的差別の解消や人権感覚の醸成におおいに寄与できているものと考えている。

事業名	男女共同参画事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	02	総務費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		項	01	総務管理費
担当部署	市民部		人権啓発センター		目	16	人権啓発費
事業費(A)			990,060円	事業の目的・目標	男女共同参画社会の形成に向け、市民への啓発活動及び計画に基づく施策の推進を図る。		
財源内訳	国庫支出金		円				
	県支出金		円				
	地方債		円				
	その他		円				
	一般財源		990,060円				

### 施策の内容、実績、及び効果

#### ○事業の内容

概要	決算額													
<b>●男女共同参画講演会</b> 講師：相川康子さん 演題：「自然災害にそなえる」 ・開催費（参加者数：150人） <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>謝礼金</td> <td>157,500</td> <td>印刷製本費</td> <td>47,000</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">292,836</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>13,240</td> <td>通信運搬費</td> <td>13,000</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>45,941</td> <td>借上料</td> <td>16,155</td> </tr> </table>	謝礼金	157,500	印刷製本費	47,000	292,836	旅費	13,240	通信運搬費	13,000	消耗品費	45,941	借上料	16,155	
謝礼金	157,500	印刷製本費	47,000	292,836										
旅費	13,240	通信運搬費	13,000											
消耗品費	45,941	借上料	16,155											
<b>●男の生活応援塾</b> 介護・住居・食事について暮らしに役立つ男女共同参画を講義と実習をとおし、生活に必要な技術を身に付けられるよう開催。 第1回：10月12日（金）会場：桜江保健センター 「笑う門にはいい介護」 第2回：12月14日（金）会場：桜江コミセン 青年研修室 「片付け魔法で気分ソウカイ！」 第3回：3月1日（金）会場：江津保健センター ・男女共同参画研修「男女共同参画は明日を照らすはじめの一步」 ・「早い！安い！うまい！料理に挑戦！」 ・塾開催費（参加者数：55人） <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>謝礼金</td> <td>122,500</td> <td>消耗品費</td> <td>9,448</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">602,224</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>1,840</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	謝礼金	122,500	消耗品費	9,448	602,224	旅費	1,840							
謝礼金	122,500	消耗品費	9,448	602,224										
旅費	1,840													
<b>●第2次江津市男女共同参画推進計画書印刷並びにダイジェスト版作成</b> <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>謝礼金</td> <td>17,500</td> <td>印刷製本費</td> <td>298,055</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>4,160</td> <td>通信運搬費</td> <td>24,000</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>41,430</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	謝礼金	17,500	印刷製本費	298,055	旅費	4,160	通信運搬費	24,000	消耗品費	41,430				
謝礼金	17,500	印刷製本費	298,055											
旅費	4,160	通信運搬費	24,000											
消耗品費	41,430													
<b>●男女共同参画研修</b> あすてらすフェスティバル、男女共同参画研修等に参加し男女共同参画意識の向上を図る。 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>旅費</td> <td>57,280</td> <td>借上料</td> <td>7,245</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>11,850</td> <td>印刷製本費</td> <td>1,916</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>通信運搬費</td> <td>5,000</td> </tr> </table>	旅費	57,280	借上料	7,245	消耗品費	11,850	印刷製本費	1,916			通信運搬費	5,000		
旅費	57,280	借上料	7,245											
消耗品費	11,850	印刷製本費	1,916											
		通信運搬費	5,000											
<b>●江津市女性ネットワーク補助金</b>	95,000													
合 計	990,060													

#### ○事業の成果

男女共同参画講演会においては、男性の参加者も増え、男女共同参画社会への関心の高まりが見える。また、男の生活応援塾は、参加者から「生活に役立つ講座である。」と感想が多く寄せられた。

事業名		広域隣保活動事業		予算科目	会計	01	一般会計
					款	02	総務費
事業開始年度	平成 24 年度	事業進捗率	%		項	01	総務管理費
担当部署	市民	部	人権啓発センター 課		目	16	人権啓発費
事業費			480,000 円	事業の目的・目標	波来浜ふれあい集会所を拠点に、地域住民と融合した隣保活動事業を展開し、社会的、経済的、文化的改善向上を図るとともに、人権・同和問題の速やかな解決に資する。		
財源内訳	国庫支出金		円				
	県支出金	3/4	360,000 円				
	地方債		円				
	その他		円				
	一般財源	1/4	120,000 円				

施策の内容、実績、及び効果

	概 要	決 算 額
社会調査及び研究事業	人権相談員等養成研修	9,600
相 談 事 業	地域生活相談員を配置し、住民の生活上の相談に応じ、必要な助言及び指導を行う。 関係機関との連携を図りながら、もって福祉の増進に寄与する。	198,000
地 域 交 流 事 業	文化教養講座（3教室）を開設し、地域交流を図る。 (円)	272,400
	講座名：実施回数：延べ参加者数：事業費	
	健康教室：10回：56人：45,000	
	竹細工教室：19回：132人：125,000	
	生花教室：11回：115人：58,000	
計：40回：303人：228,000		
	その他（旅費・需用費・役務費） 44,400	
合 計		480,000

1. 相談事業における相談件数52件（世帯区分別相談件数では、65歳以上世帯から29件、障がい者がいる世帯から16件、その他の世帯から7件）
2. 地域交流事業では、地元の産業でもある竹細工は人気も高く、交流も活発である。（指導者の高齢化と後継者の発掘が難しいという課題がある。）

事業名		私立高等学校振興事業		予算科目	会計	01	一般会計	
事業開始年度		平成 20 年度	事業進捗率		%	款	02	総務費
担当部署		総務	部		総務	項	01	総務管理費
						目	17	諸費
事業費 (A)				49,906,000 円	事業の目的・目標	少子化に伴う生徒数の減少により、経営状況が悪化している学校法人江の川学園に対し、引き続き支援することにより、同学園の教育、財務の健全性を高めもって、本市財務の健全性と定住対策推進に資する。		
財源内訳	国庫支出金			円				
	県支出金			円				
	地方債			円				
	その他			円				
	一般財源			49,906,000 円				
<p>施策の内容、実績、及び効果</p> <p>○事業の内容</p> <p>●私立高等学支援特別対策補助金</p> <p>44,000,000円</p> <p>●私立高等学校振興費補助金（生徒寮、水道管の改修）</p> <p>5,906,000円</p> <p>○事業の効果</p> <p>智翠館特別コース等の教育環境の充実や、男女ラグビー部・吹奏楽部等の部活動施設整備等により、入学者数は、平成22年度149人、平成23年度171人、平成24年度177人と増加しており、学校法人江の川学園の経営状況は改善しつつある。</p>								

事業名		江津市コミュニティ助成事業		予算科目	会計	01	一般会計	
事業開始年度		昭和 63 年度	事業進捗率		%	款	02	総務費
担当部署		総務 部	政策企画 課			項	01	総務管理費
事業費			2,500,000 円			目	17	諸費
財源内訳	国庫支出金			円	(財) 自治総合センターが実施する宝くじの社会貢献広報事業の採択を受け、その財源をもって、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図るため、江津市コミュニティ助成事業補助金交付要綱に基づき補助金を交付する。			
	県支出金			円				
	地方債			円				
	その他		2,500,000 円					
	一般財源			円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の実績

【一般コミュニティ助成】

一般コミュニティ助成として、地域伝統芸能の保存・伝承活動を推進するため、大元神楽を伝承する団体に対し、神楽衣装を整備するための補助金を交付した。

助成事業名	事業実施団体	補助金額	備 考
一般コミュニティ助成事業	市山神友会	2,500,000円	神楽衣装一式

○事業の効果

神楽衣装及び小道具を整備したことにより、市山地区をはじめ江津市の祭りやイベント等、地域コミュニティ活動に広く活用できるようになり、地域の活性化に寄与することができた。

また、子供神楽イベント等における活用で、青少年健全育成にも寄与することが期待できる。

さらに、神楽団の伝承活動においては、地元の市山地区の秋祭奉納神楽や6年に1度執り行われる国指定重要無形民俗文化財「大元神楽」の式年祭に活用することができ、文化保存活動を活発化させるとともに、若年層の後継者育成に役立てられた。

事業名		高校支援対策補助事業		予算科目	会計	01	一般会計	
事業開始年度		平成 24 年度	事業進捗率		%	款	02	総務費
担当部署		総務 部	総務 課			項	01	総務管理費
						目	17	諸費
事業費			696,781 円	事業の目的・目標	市内の県立高校の教育環境の向上、特色ある教育等への支援を図ることにより、両県立高校の教育力及び魅力を高め、入学者の増加を目指す。			
財源内訳	国庫支出金		円					
	県支出金		円					
	地方債		円					
	その他		円					
	一般財源		696,781 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

●通学バス運行事業 696,781円

- ・公共交通機関の運行のない夕方に県立高校の生徒の帰宅用に通学バス1便を運行する。

運行期間：平成25年1月から3月まで

運行時刻：公共交通機関の運行のない夕方の時間帯に1便

対象者： 帰宅する江津高校、江津工業高校の生徒

運行業務：スクールバスを使用し、スクールバスの運行業務を委託している会社に運行業務を委託する。

運行経路：①江津高校～江津工業高校～川戸駅～鹿賀

【江津東小のスクールバス29人乗りを使用】

【委託料】 1月150千円×3月×1.05=472,500円

②川戸駅～市山～長谷

【桜江小のスクールバス15人乗りを使用】

【委託料】 1日3千円×5日×11週×1.05=173,250円

【燃料費】スクールバスの燃料費を学校教育課と按分する。51,031円